

令和 6 年度自己評価結果

平成20年3月に告示された保育所保育指針において、保育士等及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務として位置付けられました。このことを踏まえ、棕の実保育園では保育の質の向上を図るために、保育園の自己評価を実施しました。

自己評価を通して、自分たちの保育のよさや課題に気づき、次の保育計画へ活かし、改善していくことで、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより良く、深まるよう努めます。

【評価の判定】

◎：できている。

○：ある程度できているが不十分・改善を要する点がある。

△：ほとんどできていない、もしくは、できていない。

【評価方法】

評価項目について、個々の保育士、職員が自己評価を行い、評価結果を持ち寄り、各項目に関する保育実践状況等を踏まえて、保育所としての自己評価を決定する。

【評価項目】

◎保育計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容		評価	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		◎	・裸足・薄着で運動遊び・戸外あそびを通しての体力作りを全職員の共通理解のもと、その特色を生かしている。 ・週1回の職員会議で、日常の保育を振り返り、報告・改善すべき点などを話し合い決める。 一人ひとりの発達に応じた目標を定め、見守りながら関わっていく
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		◎	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映している。		◎	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		◎	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		◎	
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。		◎	・指導計画は各クラスの担当が立案しているが、話し合いが不十分で担当の力量に任せてしまっている。 ・保育所指針における生きる力を培うという部分に着目し、子どもたちの主体性を大切にしたい保育ができている。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		◎	
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		◎	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		◎	
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		◎	
日時	(1) 1日の流れ(ディリプログラム等)は現行でよいか		◎	現行のままで良いが各年度、子どもの状況や季節に応じて柔軟に対応する。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か		◎	・保護者会に、計画案を承認してもらう。 ・保護者には、アンケートを取るなどして、次年度の参考にしている。 ・各行事の目的・ねらいを考え、通常の行事に戻していった。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。		◎	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		◎	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		◎	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○	・日々の保育に悩むことは、職員間で、なるべく共有できるよう職員会議等に議題を出せる環境にしていこう。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	◎	
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	◎	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	◎	・何か議題があれば、なかなか時間が取れない中、できるだけ時間を見つけ、会議を
		(2) 職員相合がそれぞれ全体的立場を理解し、協力	◎	

		や助言を惜しむことなく施設運営に関わっている。		行い、その都度意見交換を行っている。
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○	
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	◎	・年間カリキュラム、月案、日誌による週案と、長期計画を立て、短期計画で実態に即した計画設定に改善を行う。 ・常例保育等での、異年齢児の関わりが多く設けられているので、互いに学び合える環境が整っている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	◎	
		(3) 年齢別、クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	◎	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	◎	
		(5) 意義や趣旨を理解したティーム保育を行っているか。	◎	
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	◎	
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○	・避難訓練を毎月行う中で、その季節に注意すべき点についての話しをし、子ども達への理解を図っている。 ・掲示用ボード・園便り等で、家庭に周知はしている。また、個人的には、直接電話等をする。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	◎	
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか。	◎	
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域・関係機関等と連携を図っているか。	◎	
研究・研修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	◎	・全ての研修を生かすことは難しいが、自分のクラスに合うものをまず反映させ、評価・改善を行う。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	◎	
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	◎	
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○	
	所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○	・職員会議で、研修内容を説明し、職員間で意見交換を行い、各職員が、自分の研修として認識する。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	◎	
情報について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っていきか。	◎	・子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点では職員会などで全職員に周知している。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	◎	

		(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	◎	
施設・設備		(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	◎	・毎日施設内外の点検表に安全確認のチェックを記入する。 ・不審者等についても避難訓練として行う。
		(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	◎	
		(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○	
		(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	◎	
出納 経理		(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	◎	・経理会社に、助言を受け適切に処理を行う。
開かれた 保育所づくり	家庭・地域社会との連携	(1) 地域の小学校との交流を積極的に行っているか。	○	・各小学校と就学前の連絡会に参加する。 ・巡回相談など、専門機関との連携をして助言を受け保育に反映している。 ・関係機関とのミーティングを行う。
		(2) 地域の行事等に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○	
		(3) 関係機関との連絡が適切に行われているか	◎	
		(4) 保育実習生・中高生の保育体験などを受け入れるときはその目的や意義を理解・確認しているか	◎	
	子育て支援	(1) 子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境作り、子どもの支援ができる場を作っているか。	◎	・保護者からの要望があれば、関係機関と連絡し情報を提供することができる。 ・送迎時に子どもの健康面や家庭や保育所での様子などを伝える。そこで、相談受けたことなど保護者からの要望があるときは個別で面談をしている。
		(2) 利用者が良好な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけているか。	◎	
		(3) 課題がある親子に気づき、利用者の気軽な相談を大切に受け止めることができるか。	◎	
		(4) 保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または、地域の子育て資源に関する情報を提供しているか。	◎	